

令和2年1月16日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

—— 今週のトピック ——

警察から、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した防犯情報の発信状況について」報告がありました。

1 質疑等

(1) 令和2年2月中行事予定表について

警務部から前記事項について報告を受けました。

(2) 端末認証システム及び複合機の導入について

警務部から「これまで、警察業務において、職員各自がそれぞれ使用しているパソコンを他の警察署等で使用する際には、IPアドレスの変更等の作業を要していたが、今回、端末認証システムを導入したことにより、同作業が不要になり、端末の移動も早期可能となった。これによって捜査本部を設置する際や、大規模災害で庁舎が罹災した際等、他署で端末を使用しなければならない場合の利便性が向上した。また、カラーコピー及びFAX並びにスキャンの機能を備えた複合機も、交番、駐在所等の警察施設に計380台設置したが、これにより文書管理業務の合理化が図られたうえ、原稿をスキャナで読み込んでメール送信することが可能となったことから、FAXによる原稿の誤送信防止も図られた。」旨の報告を受け、公安委員から「このような端末認証システムや多機能の複合機を全国に先駆けて導入することは、業務の効率化を推進する上で非常に有意義である。さらなる開発等にも期待したい。」旨の意見がありました。

(3) 適正飲酒の取組に関する覚書の締結について

交通部から「県内にて発生している多量飲酒による路上寝や事件事故などを防止すべく、自ら相談・治療を希望するアルコール依存者などに迅速に対応し、適切に支援することを目的として、浦添警察署において、浦添市役所と適正飲酒の取組みに関する協力体制を構築するための覚書を締結した。本覚書により、浦添警察署は、飲酒絡みの事件や保護などで取り扱った者の内、自らアルコール依存の改善を希望する者へ相談カードを交付することとなり、浦添市役所ではそのような相談者に対し、医療機関や自助グループ等を紹介するなど断酒に向けた支援を行うこととなった。このように、県内で初となる警察と行政による取組みを推進することにより、適正飲酒に関する地域住民の気運の醸成をさらに図っていく。」旨の報告を受け、公安委員から「過度な飲酒を原因とする酒絡み事案を抑止するため、適正飲酒に関する取組は、社会全体の問題として捉える必要があることから、関係機関や団体等との連携を継続し、県民に向けた適正飲酒に関する普及啓発活動の推進に尽力してもらいたい。そのように考えると『適正飲酒』という表現だと堅く、かしこまるイメージがあることから、県民に浸透させやすい何か別の柔らかい表現に変えることも検討してみてはどうか。」旨の意見がありました。

(4) 令和元年中の歓楽街環境浄化対策の推進状況について

生活安全部から「市民が安心して暮らせる生活環境と観光客の安全・安心を確保すべく、歓楽街の適正な風俗環境を保持することを目的として、各警察署においてボランティアと連携した夜間合同パトロールや風俗営業所への立入り、広報啓発活動等の歓楽街環境浄化対策を実施した。」旨の報告を受け、公安委員から「歓楽街の適正な環境を保持していくためには、多くの関係機関や団体等と連携した浄化対策を継続することが必須である。地域住民や観光客が安全で安心できる風俗環境を構築すべく、引き続き各種対策に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(5) SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した防犯情報の発信状況について

生活安全部から「サイバー犯罪被害の未然防止等を目的として、近年、利用者が急増しているSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のツイッターを活用し、令和元年8月からサイバー犯罪対策に係る情報発信を行っている。また、児童・生徒にスマートフォンやインターネット接続機能を備えた携帯ゲーム機などが急速に普及したことにより、これらを使ってSNSを利用したことに起因する性犯罪や薬物事犯による被害、SNSを悪用した少年事件の発生が後を絶たないことから、令和元年7月からSNSのツイッター等を活用して、少年非行及び犯罪被害防止に係る情報発信も行っている。」旨の報告を受け、公安委員から「情報通信技術の普及により、即座に情報を発信し入手することも可能となっていることから、多くの県民が県警のSNSをフォローしたり防犯情報等を拡散したりできるようにし、SNSを効果的に活用した犯罪の未然防止対策を更に推進してもらいたい。」旨の意見がありました。

(6) 令和元年中の人身事故発生、交通指導取締りの状況について

交通部から前記事項について報告を受け、公安委員から「死亡事故の件数と死亡者数は、それぞれ前年比で減少しているものの、そのうち二輪車乗車中の死者数や飲酒絡みによる人身事故件数が増加していることから、交通事故の発生状況や発生現場の特徴、飲酒運転者の認識、事故に遭った路上寝者の状況など、様々な観点から事故の発生原因を検証する等し、交通事故の絶無に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(7) 要人警護の実施結果について

警備部から前記事項について報告を受けました。

(8) 出入国管理及び難民認定法違反事件被疑者の検挙について

警備部から前記事項について報告を受けました。

(9) CSF(豚コレラ)の発生に伴う警察措置について

警備部から「1月6日にCSF(豚コレラ)が発生したことに伴い、翌7日に警備第二課長を長とする対策連絡室及び県内4警察署(沖縄、うるま、石川、名護)に署対策本部を設置し、警察措置として、自治体が設定した消毒ポイントにおける防疫支援態勢の確立、防疫

実施地域における流動警戒等を実施した。さらに、県主催の沖縄県特定家畜伝染病対策本部会議等に本部長等が出席し、認識と情報を共有し、防疫に伴う規制等について指導助言を行った。」旨の報告を受け、公安委員から「県警察のCSFに対する措置状況について理解した。一県民としてCSFの早期終息を切に願いたい。」旨の意見がありました。

2 本部長総括

本部長から「適正飲酒や飲酒に絡む事件事故の未然防止に向けて、引き続き、対策の強化に努めてまいりたい。」旨の総括があった。

3 決裁・報告等(7件)

警備部

- ・ 警備情勢について

生活安全企画課

- ・ 「風俗案内所」と「風俗案内業」について

サイバー犯罪対策課

- ・ サイバーパトロール・デモンストレーションについて

監察課

- ・ 令和元年「年間成績優秀警察署」の審査結果について
- ・ 監察関係報告

総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について
- ・ 公安委員会会議録のホームページ掲載について

4 決定・裁定(1件)

運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について